

金町駅周辺地区まちづくりプラン【概要版】



■ 目的 ■

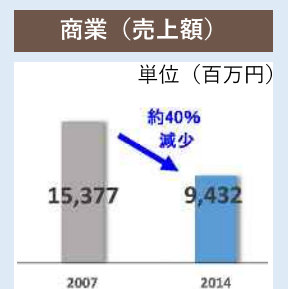
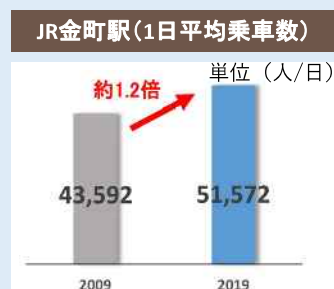
金町駅周辺地区では周辺開発に伴う人口や駅利用者の増加により、理科大学通りの歩道や北口駅前広場の狭さが顕著となり、歩行者等の安全性が低下しています。また、歩行者空間の不足や利用者の回遊が乏しいことから駅周辺のにぎわい低下が懸念されます。

こうした状況を踏まえ、区と「金町駅北口周辺地区まちづくり協議会」の協働により『金町駅北口周辺地区まちづくりビジョン』を策定し、まちづくりに取り組んできました。

本プランは、上記社会情勢の変化や『まちづくりビジョン』の方向性を踏まえ、地区の将来像の実現に向け、より具体的な取組を示します。

■ 地区の現況 ■

- ・人口、鉄道利用者（JR金町駅）
⇒増加傾向
- ・商業の年間販売額
⇒減少傾向

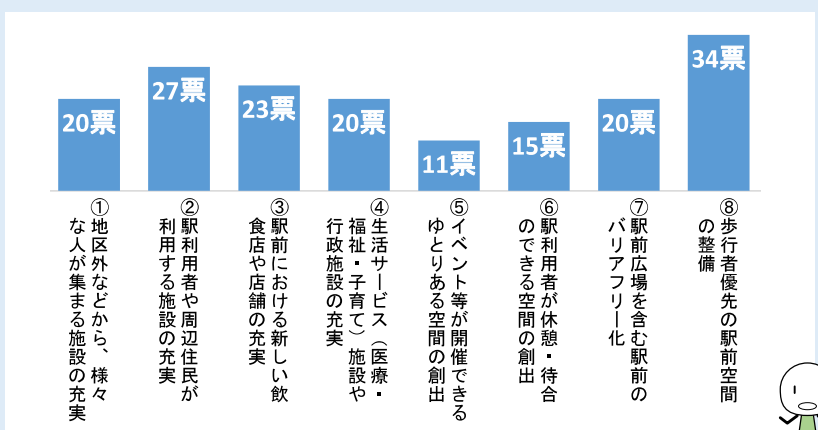


■ まちの声 ■

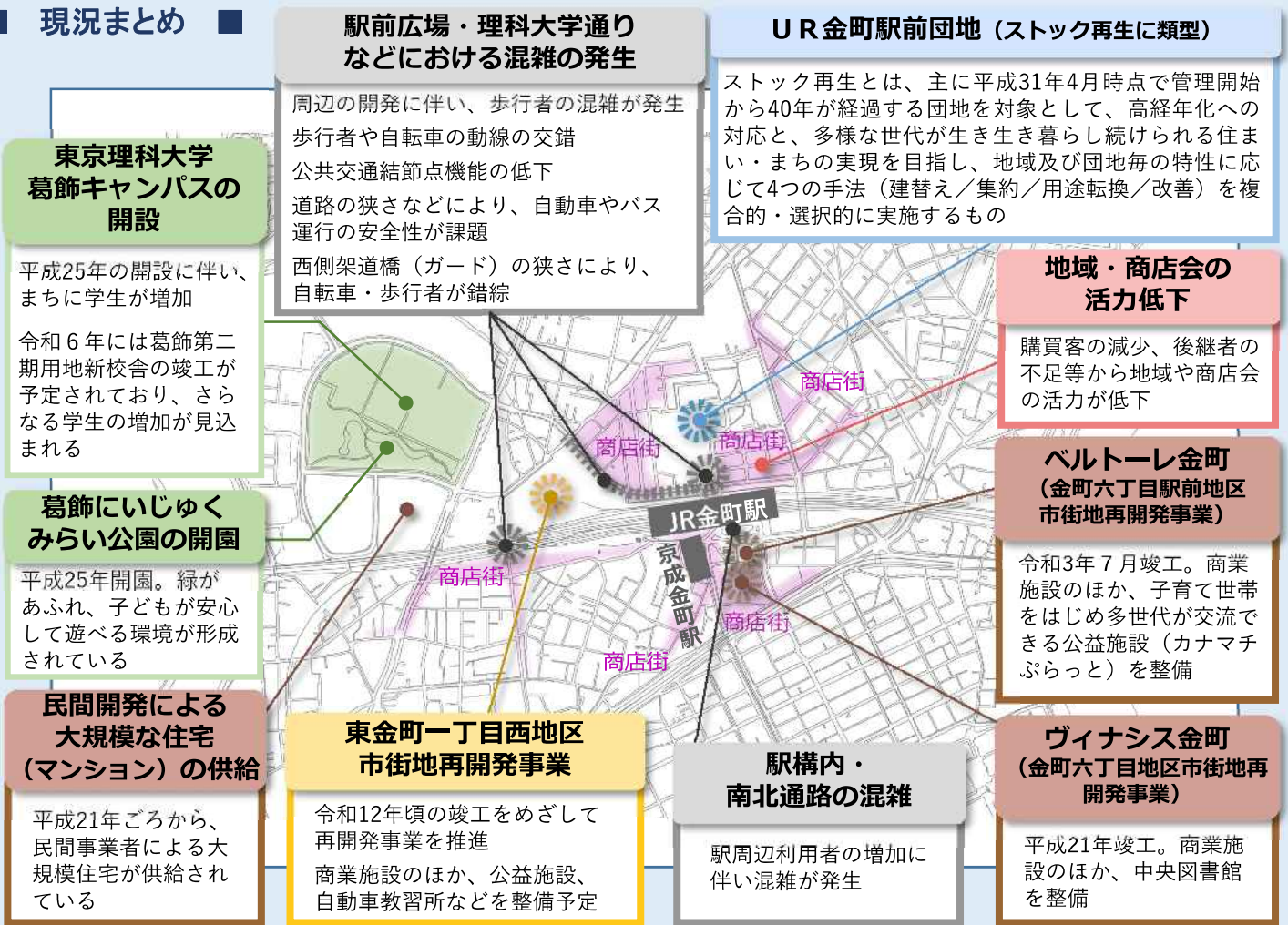
本プランを策定するにあたって、地域の方々から意見を伺ったところ、以下のような結果になりました。

- ・JR金町駅・京成金町駅の駅舎
 - ・駅北口駅前広場
 - ・理科大学通り・しょうぶ通り
- ⇒上記3点の現状について、約8割の方が不満もしくはやや不満と回答
- また、駅周辺が今後どのようなようになってほしいかについては、右図のとおり結果になりました。

■ 駅周辺が今後どのようなようになってほしいか



■ 現況まとめ ■



■ ハード面に係る課題 ■

課題1 安全・安心で快適な移動環境の形成

- ・ 歩行者、自転車利用者等の安全・安心を確保しつつ、快適な移動環境の形成が必要
- ・ 駅利用者や歩行者等の安全性確保や利便性向上、交通結節点としての機能強化に向けた取組が必要

課題3 景観形成・回遊性の向上

- ・ 地域の回遊性を高めつつ良好な景観の形成、商業等のにぎわいの連続性確保が必要

課題2 地域の活力をけん引する拠点機能強化 / 沿道のにぎわい形成

- ・ 地域のにぎわいや利便性向上に向けて広域拠点型商業・業務・サービスに加え滞留滞在拠点の形成が必要
- ・ 既存商業の活性化を図るため、回遊性の向上、にぎわいの連続性確保が必要

課題4 各種災害への備えの充実

- ・ 首都直下地震や激甚化する豪雨などに備えるため、ハード面・ソフト面一体となった取組が必要

■ ソフト面に係る課題 ■

課題5 商店会の活性化 / 人材育成 / 協働のまちづくり / 地域交流の推進

- ・ にぎわい形成や良好なコミュニティ形成を図るため、日常的な交流の推進が必要
- ・ 区民協働のまちづくり推進による地域の持続性確保が必要

課題6 地域サービス・住環境の向上

- ・ 子育て支援・福祉の充実、生活利便の向上等を図り、居住環境の維持・向上が必要

■ めざすべき将来像 ■

当地区の位置付けや現況、地区の課題を踏まえ、めざすべき将来像を以下のとおり設定します。

あした 明日へ ツナグ 金町

水元公園や柴又、都心や千葉方面へ繋がる玄関口としての交通基盤や機能を更に充実させ、人と人の繋がりを承継させながら、地域の活力を「明日へツナグ」持続可能なまちづくりをめざします。

■ ハード面に係る取組 ■

将来像 1

快適な移動で『ツナグ』 交通環境づくり

- ・ 快適な移動環境の形成に向けて、基盤整備の推進
- ・ 歩行者・自転車・自動車が快適に移動できる環境整備
- ・ 基盤整備と一体でバス路線の再編等
- ・ 自動運転等新技术導入時における駅前のあり方を検討
- ・ シェアサイクルの整備

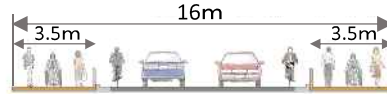


■北口駅前広場
イメージパース

取組

- ① 基盤整備の推進
- ② 公共交通網の充実
- ③ 南北交通の拡充
- ④ JR金町駅の改良
- ⑤ 自転車駐車場の整備、再配置

■標準断面



■: 拡張の
検討範囲

将来像 2

地域を『ツナグ』 活力を高めるにぎわいづくり

- ・ 地域の活性化に向け、民間等の開発計画の誘導により、多機能化（住宅・商業・業務・サービス・滞在機能等）による拠点性の強化
- ・ 低未利用地の解消及び利活用、滞留空間（広場等）の確保

取組

- ① 市街地再開発事業の推進
- ② UR金町駅前団地
ストック再生の計画誘導
- ③ 低未利用地の解消
- ④ 滞留空間の確保



■東金町一丁目西地区イメージパース

将来像 3

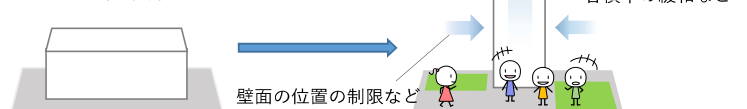
居心地の良さを『ツナグ』 歩いて楽しいまちづくり

- ・ 商業の充実・連続性確保による回遊性の向上
- ・ 理科大学通り・しょうぶ通りの沿道土地利用を検討し、魅力ある歩行者空間を形成
- ・ 地域に開かれた滞留空間の確保

取組

- ① UR金町駅前団地ストック再生と連携したにぎわいの連続性確保、回遊動線の形成
- ② 基盤整備と一体となった景観形成

■土地の高度利用のイメージ



将来像 4

安全・安心な住みやすさを 『ツナグ』防災環境づくり

- ・ 減災の取組を進め、ハード・ソフトの両面から地域の防災機能向上

取組

- ① 防災機能の向上
- ② 事前防災の推進

■ ソフト面に係る基本方針・取組 ■

将来像 5

地域の魅力を発信し、持続して 次世代へ『ツナグ』まちづくり

- ・ 持続可能なまちづくりに向けて、地域交流の推進、次世代の担い手育成、地域の魅力発信を推進
- ・ 日常的な交流による地域コミュニティの形成とあわせて、災害時の自助・共助意識を醸成

取組

- ① まちづくり組織による計画・運営（エリアマネジメント）体制の構築
- ② 地域の担い手・活動団体の育成
- ③ 情報発信機能の強化
- ④ 防災意識の醸成、共助の推進
- ⑤ ソフト施策による各拠点間の連携推進

広場の活用



道路の活用



将来像 6

金町らしさを『ツナグ』 承継と発展するまちづくり

- ・ 文教地区のにぎわい等を承継、発展させながら、各種まちづくりと一体的に、便利で住みやすい住環境の形成

取組

- ① 地域サービスの維持・向上
- ② 学生や若者と協働した地域コミュニティの形成
- ③ “新しい生活様式”への対応

取組のまとめ



取組推進に係る段取り(ロードマップ)

主なまちづくり内容	【短期】概ね3~5年	【中期】概ね5~10年	【長期】概ね10~20年
	ハード整備		
基盤整備 理科大学通りの拡幅 しょうぶ通りの拡幅 駅前広場の拡張	都市計画決定	関係者、関係機関との協議・交渉	事業実施
東金町一丁目西地区市街地再開発事業	事業実施	竣工	運営
UR金町駅前団地ストック再生	計画、基盤整備との調整 (都市計画等)	ストック再生の推進	
南北交通の拡充	計画、関係機関との協議		事業実施
JR金町駅の改良	計画、関係機関との協議		事業実施
ソフト整備			
まちづくり組織による計画・運営体制 (エリアマネジメント)	計画 ・体制 ・事業内容	試行的な取組 ・イベント ・施設運営	運営



葛飾区 都市整備部 都市計画課 金町街づくり担当係
住所：葛飾区立石5-13-1 TEL：03-5654-8346